

美浦中学校2年生が 台北市立敦化国民中学を訪問しました



訪問団団長
美浦村議会議員
林 昌子

この度、「平成30年度美浦少年のつばさ事業」において、訪問団の団長として参加いたしました。同事業は、美浦中学校と敦化国民中学校の生徒との交流を中心とするもので、本年5月に敦化中学生が美浦中学校を訪れた2カ月後の訪問となり、より友好が深まった交流となりました。交流事業では、マーブリング体験、団子作り、バスケットボール試合等のスポーツ体験を行いました。当初は緊張して遠慮気味の生徒も段々と打ち解け、積極的に英語や身振り手振りで会話する姿に頼もしさを感じる交流会でした。生徒の皆さんには、日本のルールと海外でのルールの違いを感じる場面に遭遇したり、外国語の習得の大切さを痛感するなど、外国を肌で体験した経験をいかして今後の人生を歩んでくれることを期待いたします。

最後に、訪問団が無事に帰国できましたこと、団員の皆さん、保護者の皆さま、引率者各位のお力添えのおかげと感謝します。そして、このような機会を与えてくださった美浦村に深謝申し上げます。



美浦村ふるさと大使
阿井 英二郎

この度、26回目を迎える歴史ある「美浦少年のつばさ」事業に参加させていただきました。「一歩踏み出すこと、自分たちの勇気が美浦村の国際化につながる。心が通じ合う瞬間は、何の気負いもない中で訪れるはず」出発前の結団式で、生徒たちが述べた誓いの言葉は実に力強いものでした。

交流会において、生徒たちは、新しい出会いをとても大切にしていました。異なる習慣や文化への理解に努めようとする姿には責任感が溢れ、また将来性も感じられました。根底には、異国の地へと送り出してくれた親御さんや美浦村への感謝の気持ちがあったからでしょう。とても貴重な時間と空間でした。

今般参加してくれた生徒たちは、それぞれ「何か」を感じ取ってくれたことと思います。その何かを契機に、今後ますます成長し、彼らが大人になる頃、国際的に活躍できる人材が出てきてくれれば素晴らしいことと考えます。彼らはきっと美浦村に新たな光を点してくれるでしょう。

美浦少年のつばさ事業 台湾の伝統と文化に触れた六日間

今年で26回目をむかえる「美浦少年のつばさ事業」は、海外の同世代の人々との交流を通じて国際感覚を備えた美浦村の将来を担っていく人材の育成を目的に、美浦村人材育成推進協議会が毎年行っている事業です。今年では7月30日から8月4日までの6日間、美浦中2年生16名を含む美浦村訪問団が台湾を訪れました。

今年も中学2年生の団員募集には多数の応募があり、抽選により16名の団員が決定しました。

団員の皆さんは、普段の生活との違いに戸惑い、言葉の壁にぶつかりながらも、台北市立敦化国民中学校の生徒との交流を通じてかけがえのない友人をつくることができました。台湾の伝統と文化を身近に体験した6日間でした。



引率者 《敬称略》

- 団長 林 昌子(美浦村議会議員)
- 阿井英二郎(美浦村ふるさと大使)
- 富岡 正幸(美浦中学校校長)
- 宮崎百合子(美浦中学校教諭)
- 仲野 博之(美浦中学校教諭)
- 菅野 眞照(役場企画財政課)



糸賀 稀吏 (2-B)

僕は、今回の美浦少年のつばさ事業に参加し、敦化中学校の生徒との交流で驚いたことが2つあります。1つ目は、敦化中生の英語能力です。僕の分からない英単語がいくつも聞こえてきたので、もっと英語の勉強が必要だと思いました。2つ目は、ジェスチャーです。敦化中生は、ただ英語を話すだけではなく、体を使って表現していたので、僕も真似をしたらスムーズにコミュニケーションがとれ、理解しあえて心も通じあえ嬉しかったです。この研修での経験をこれからの生活にいかし、また台湾に行き、さらに様々なことを学びたいと思いました。



岡村 雄大 (2-B)

僕は、今回の少年のつばさ事業で敦化中の生徒と交流をしました。最初は、緊張から何をすることも硬くなってしまいましたが、敦化中の生徒の人達が積極的に話しかけてくれたことで表情も和らぎ、最後まで笑顔でコミュニケーションをとることができました。たと言葉が通じなくても伝えることはできるのだと実感できました。また、英語は敦化中の生徒の方が発音なども上手でとてもすごいと思いました。僕も見習ってこれからもたくさん勉強したいと思います。この研修がとても有意義なものになりました。



石川 航大 (2-A)

私はこの6日間でたくさんのことを学び、経験することができました。特に実感したのが、コミュニケーション能力の違いです。私は英語を小さい頃から習っていましたが、今回の研修を通して、自分の英語はまだ海外に通用しないことがわかりました。敦化中生は、とてもネイティブな発音で、文の構成なども完璧でしたが、私は知っている単語をつなげて文を作るのが精一杯でした。なので、今後の授業では台湾の生徒のようなネイティブな発音を意識していきたいです。今回の研修で学んだことを今後の学校生活や、将来にいかしたいと思います。



大竹 彩菜 (2-A)

私は、今回の美浦少年のつばさ事業でとても貴重な体験をさせていただきました。敦化中の生徒との交流は、素晴らしい思い出になりました。英語が通じない時が多く、もっと英語を勉強したいと思いました。親日家ということもあり、台湾の人達の温かさを感じることができました。話す言語は違っても、心は通じ合えるということを肌で感じました。帰ってから繋がついていることが、何よりの宝物となりました。このような機会を与えてくださったことに感謝をして、今後の人生にいかせるよう努力したいです。本当にありがとうございました。

私はこの研修で、多くのことを学びました。特に敦化中との交流会ではコミュニケーションのとり方を深く学びました。言葉が通じなくても、ジェスチャーや表情などでコミュニケーションがとれることを実感しました。写真撮影や会話などを通して、どんどんと会話が多くなり、仲間を深めることができました。友情や絆には国境という壁はないということがよくわかりました。私は今回の研修で学んだことをいかし、コミュニケーションをとる際には表情を意識していきたいです。そして、たくさんの方との交流を大切にしたいと思います。



小澤 真央 (2-B)

私が今回の研修で学んだことは2つあります。まず、言葉が違ってもジェスチャーを使って伝えられることです。私は言語が違うため思うように話しかけられませんが、体を使うとうまく伝わりました。2つ目は誰にでも良い態度で接することです。敦化中生はとても優しく接してくれてうれしかったので私もまねしたいです。そして自分の将来にいかしていきたいです。私はこれからの学校生活でコミュニケーションを積極的に心がけていきたいです。この研修に参加して、とても良い経験ができました。



細谷 凌我 (2-B)

この研修で私は、たくさんのことを学びました。特に、敦化中生との交流では、英語が話せないと大変なのだと肌で感じました。最初は緊張してなかなか話せなかったけれど、ゲームや自由行動の時間でまるで幼馴染のような仲にまで心を通わせることができました。友情には国境がないと感じる事ができました。この2日間で敦化中生との友情を最大限まで深めることができとても嬉しかったです。また残りの4日間では台湾の歴史や文化のことをたくさん知ることができました。本当に良い研修にでき自分の成長につなげられたと思いました。



佐々木 優心 (2-A)

今回の研修はたくさんの事を学ぶことができたとても良い研修になりました。まず、英語力の重要性です。これは敦化中生との交流でとても感じました。交流の時に英語でコミュニケーションをとるのですが、その時に知らない単語がたくさんあって、同じ中学生なのにこんなにも実力差があるのかと痛感しました。2つ目は思いやりの気持ちです。食事をする時に敦化中生が料理をとってくれたり、飲み物をすすめてくれたり、とても優しい人達だと思いました。今回の研修で感じたことを自分でも行動できるよう意識をして生活していきたいと思いました。



矢木沢 勇真 (2-A)



趙 洋 (2-C)

私は今回の交流で台湾の生徒と
いろいろな交流をしました。特
に印象に残ったのは、一緒に見
学に行ったことです。最初に行
ったのは宜蘭国立伝統芸術セン
ターで、みんなとまとまっている
いろいろなお店に行きました。お
いしいものも食べて、とても仲
が良くなり楽しかったです。次
に十分に行き天燈上げをしました
。自分の願いごとをみんなで書き、空に飛ば
したのが楽しかったです。交流ができて本当に楽し
かったです。私は台湾という場所と人々にいろい
ろなことを教えてもらうことができました。私は
本当に6日間楽しかったです。



塚本 杏那 (2-C)

私はこの少年のつばさ事業に参
加してたくさんを経験しまし
ました。教化中の人との交流で
は、英語が思うように使えず台
湾語も分からない状況で、ジェ
スチャーや表情で会話をするし
かありませんでした。しかし台
湾の人たちは皆優しく、たく
さんの人と交流でき、最後には
私のパートナーがお別れのプレ
ゼントをくれました。今回の経験で、友情に国境
の壁はないと思いました。私はこの研修を通じ、
コミュニケーションを大切にするとともにジェス
チャーや表情の大切さも再確認できました。この
事業に参加してよかったです。



松村 秀喜 (2-B)

今回の研修で僕は、台湾の生徒
たちとの交流を行い、たくさん
の学ぶものがありました。まず、
交流を行う前の教化中の生徒た
ちの親切さに驚きました。用意
されている部屋のイス・ドア
などを先に行って開けてくれた
りイスを出してくれたりする親
切さは、部活や学校生活でもい
かせるものなので、僕もぜひ積
極的に行っていきたいと思いま
す。また、コミュニケーションがとれなくて困っているときに簡単
な英語で話しかけてくれる優しさにも驚きました。
今回の研修は気遣いや思いやりの大切さを学ぶこ
とができた素晴らしい機会となりました。



谷畑 佑奈 (2-B)

私はこの少年のつばさ事業で、
たくさんの思い出ができました。
その中で一番心に残ったことは、
教化中との交流です。1日目は、
なかなか喋ることができず、2
日目はどうなるか不安でした。
しかし、2日目の自由行動で少
しずつコミュニケーションをと
ることができ話も通じて教化中
の子と仲良くなることができました
。たった1日でこんなに絆が深まると思っ
ていませんでした。最後のお別れのときは、もっと
1日目に楽しんでおけばと後悔しました。悲しみ
やさみしさの中でも、最後はきちんと笑顔でお別
れができたので良かったです。

私は今回台湾に行って、たく
さんの貴重な経験をすることが
できました。最も印象に残って
いるのが教化中の生徒とたく
さん交流したことです。最初は何
を言っているのか分からなかつ
たのですが、お互い接していると
だんだん通じあってきたよう
に感じました。コミュニケーション
は大事だと思いました。教化
中生はいつも笑顔で面白く、
みんなとても優しく、温か
みが感じられました。また、
今回の研修の中で学んだこと
もたくさんありました。友達
のことを考えて行動すること
や時間をきちんと守ること
の大切さを改めて実感する
ことができました。



沼尻 清か (2-C)

私が今回の研修で学んだことは
2つあります。1つ目は、言葉
が違ってても伝えようとする
思いです。教化中の生徒と私
たちは国が違い、言語も違
いますが、言葉だけでなく体
を使って伝えてくれました。2
つ目は、国が違うからと言っ
て差別をしないことです。教
化中の生徒や、夜市のお店
の人は、私たちが日本人だ
と知っても快く受け入れて
くれました。どんな人でもい
い気持ちで接してあげたい
という人の温かさを感じる
ことができました。私は今回
の研修を通して、コミュニ
ケーションの方法は言葉
だけではないのだというこ
とを学ぶことができました。



松葉 武龍 (2-C)

私はこの少年のつばさ事業で、
たくさんのことを学びました。
特に、教化中学との交流会
では、言葉がうまく通じない
なか、ジェスチャーや顔の表
情などで話することがとても
大変でした。でも、自分の意
見が相手に通じたときは、
大きな達成感を味わうこと
ができました。3日目の教化
中学生とのお別れのときには、
みんなと離れたくないとい
う気持ちでいっぱいでした。
今回の経験で、言葉が通じ
なくても、うまく話ができな
くても、手の動きや目の動
きを使って、自分の考えを
伝えられれば、交友関係を
築いていけるのだと実感す
ることができました。



石井 瑞貴 (2-C)

私は、今回台湾に行ってたく
さんの経験をしました。その
中でも一番心に残ったことは
教化中との交流会です。1日
目は自分の言葉や思いが通
じず、とても苦戦しました。
ですが2日目に何とか改善し
ようと学んできた英語を使
いコミュニケーションをと
ろうと頑張りました。その
かいあって、2日目はとても
絆を深めることができました。
私は、1日目にもっとコミュ
ニケーションをとり、仲良
くなっていけばと後悔して
います。ですが本当にたく
さんの思い出を作ることが
できました。今回の台湾研
修に参加することができて、
本当に良かったです。



斉藤 恵菜 (2-C)